

2025年度役員一部改選でスタート

新副会長/山田直彦氏 他四役は留任

～伊藤副会長 長い間お疲れ様でした～

2025年度  
運営方針

《町内会の運営を次の四本柱で支えていきます》

- ① 自主防災訓練の実施
- ② 自主防災指導員・市民消防隊員等の講習参加
- ③ 久里浜中学校避難所運営訓練の講習参加
- ④ 見守り隊によるパトロール
- ⑤ 防犯カメラの監視による犯罪抑止

(二) 文化・福祉活動のまちづくり

- ① 町内会「文化祭」の企画・運営
- ② ボランティア・グループ(わたぼうし久村)による福祉活動
- ③ 民生委員、社会福祉推進委員ボランティア員による福祉活動

(三) 環境美化活動によるまちづくり

- ① 環境美化委員による久村児童公園と神社清掃活動
- ② クリーンよこすかキャンペーン活動の取り組み
- ③ クリーンキャラバン隊の参加

(四) 町内会イベント活動によるまちづくり

- ① 御瀧神社のお祭り
- ② 町内会運動会
- ③ 町内会文化祭
- ④ くむらおしゃべりひろばの開催
- ⑤ くむら新聞の発行
- ⑥ 町内会HPの維持更新

伊藤副会長  
退任あいさつ



今日までの12年間の長きに渡り副会長として務めさせていただきま

した。山田前会長から現在の浅葉会長へと体制変わるときに、1期2年間、引継ぎ役として残る事になりました。

この12年の間には新型コロナウイルスの感染拡大があり、久村町内会でもコロナ禍の為に夏の祭礼や秋の防災訓練、運動会等々

多くの行事が数年間中止になってしまいました。

総会もこうして対面では出来ずに回覧板にて提案し、紙ベースでの議案の賛否をお願いしたこともありました。

未だに敬老慰安会は万が一の事を考え中止のままになっています。

町内会もIT化を進めてホームページの立ち上げを行い、役員間の連絡や打ち合わせ関係も含めライン網を一元化する等して、この2年間に大きく改善しました。更に改革を進める浅葉会長体制で今後も町内会活動を続けてまいります。

どうか皆様のご理解とご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

【伊藤 義和】

2025年度町内会役員

- 《二役》  
会長 浅葉 清志  
副会長 吉田 稔彦
- 《監事》  
同 山田 直彦 (新任)  
同 角井 忠男 (新任)  
同 大内 栄
- 《部長》  
総務 吉田 慎二  
同 遠藤 加奈子  
経理 田丸 栄一  
同担当 脇美佐子  
環境衛生 山田志津代  
防災 櫻井 伸也  
防災交通 中島 透  
文化教養 脇美佐子  
IT広報 大内 栄
- 《班長》  
一班 北村 和喜 (新任)  
二班 平井 友雄  
三班 秋元 正行  
四班 圓谷 幹雄  
五班 藤ヶ森 広志  
七班 内田 輝夫 (新任)

八班 吉田 慎二

- 《内部組織責任者》  
婦人部 田丸 訓子  
青年部 三上 蓮  
わたぼうし久村 浅葉 三千代  
生きがいの家 浅葉 清志  
青少年育成推進員 宮崎 照美  
スポーツ推進委員 中島 透  
加藤 浩  
佐藤 八千代  
石川 克彦

《民生委員児童委員》

- 平井 友雄・山森 浦子  
高橋 直樹・圓谷 幹雄  
三上 博子・小川 昭彦  
吉田 慎二

《社会福祉推進委員》

- 山田 正和・伊藤 義和  
相談役 宮前 恒  
祭礼保存会・会長 田丸 雄一  
神社会計 勝部 真紀・三上 良江

《氏子総代》

- 山田 正和・伊藤 義和  
相談役 宮前 恒  
祭礼保存会・会長 田丸 雄一  
神社会計 勝部 真紀・三上 良江

久村人物紹介

現代の名工  
『木製家具・建具製造工』

佐久間建具店  
佐久間和男さん

1959年神奈川県生まれ、佐久間和男さんは佐久間建具店創業者の父親の働く姿を見て育ちました。

幼いころから、物作りの環境に恵まれ、不要となった木材から、豊富な道具を使い父親の見よう見まねで、瞬間に技術を身に付け、小学生の図工の時間には「火の見櫓の模型」をつくったり、中学生の頃はアルバイト

「杉彩」の開発・製造・販売に力を注ぎ、県内の森や森林の活性化に寄与された。近年では、2020年東京パラリンピック競技大会の聖火「トーチ台制作」の取りまとめで、その技術力が高く認められ、令和6年度の「現代の名工」(国が卓越した技術者に贈られる表彰制度)に選出された。

今では、後身の育成が使命だ

で製品を納めるまで成長していた。20歳で秦野の建具店で4年間基礎を叩き込まれ、24歳で稼業を継いで以降、神奈川県産のスギ材を活用した家具ブランド

と、職人としての使命は若い弟子2人の育成に力を注ぐ、修行時代に親方、直接教えてくれることは少なかつたが、当時の経験が今の自分を作った。今度は自分が弟子たちへ技術のバトンを渡す。「これが僕なりの恩がえしなんだ」中学校の体験授業を行うなど育成に力を注ぐ。作業は繊細さを求められるが、そこが面白いところと、佐久間さんは語ってくれました。

久村人物紹介

スタジオ撮影 & 出張撮影  
『ただいま写真館』

フォトグラファー  
鈴木 都恵さん

湧き水が滴れ落ち、農作物栽培には打ってつけの環境にあります。

その畑に持参したトマトの苗木を植え付ける作業に加え、元来おしゃべり大好きな会話が始まった。

植え付けしながら、写真の話、久村に移り住んだ話、趣味の話、「ただいま写真館」は「写真をきっかけに」おしゃべりが出来る、「ママの力になれたらいいな」という想いではじめた。

子育てや仕事などの女性ならではの悩みを、お互いにおしゃべりするだけで、元気になるような、時には、葉山で保育士歴25年の経験がお役に立てる時があるかもしれない、そんな気



トマトの苗植え



作業所を見学した時の様子